

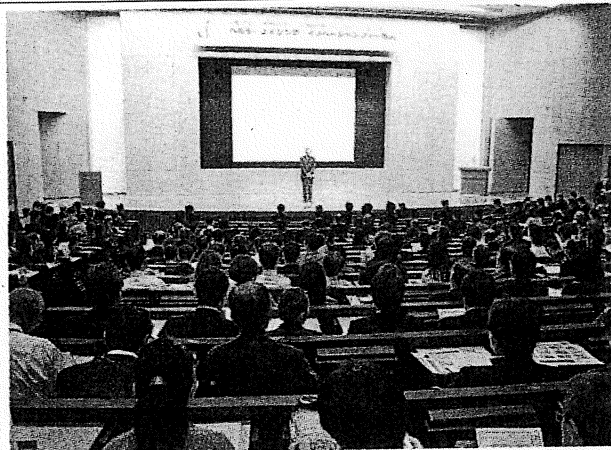
健康寿命延伸探る

都内で
フォーラム
弘大の取り組み説明

健康寿命延伸に向けたビッグデータの活用を考えるフォーラムが20日、東京都内で開かれ、参加者約700人が「弘前発」の取り組みに理解を深めた。

弘前大学は国の「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」の事業認定を受け、「岩木健康増進プロジェクト」の膨大なデータを解析し、疾患の予測・予防法開発などに取り組んでいる。また、自治体や学校、民間とも一体となって短命県返

上を目指しており、新たな産業と雇用の創出につながるとして全国の注目を集めている。都内で3回目となるフォーラムでは、弘大COI拠点長の中路重之弘大大学院医学研究科教授が基調講演で取り組みと見通しを説明。



健康関係企業や大学関係者ら約700人が参加したフォーラム

「COIを通じた取り組みが大学の活性化につながる、短命県の返上につながる。返上することで答えを示し、その方程式が分かれば世界人類の健康づくりに貢献できると強

く思っている」とし、理解と協力を求めた。この日はCOIに参加している協和発酵バイオの小谷近之社長も特別講演し、「アミノ酸意欲を示した。」

データを解析し、健康の「気付き」となる指標を開発するなど、「寿命革命」への貢献を目指したい」などと

（石黒全）